

# 講 義 概 要

## ぬくもりのある子育てと家族の絆形成 永山 くに子先生 (専攻:母性看護学)

近年、少子化は大きな社会問題となっている。その背景にある、変化している家族の形態を理解しつつ、子育ての過程でおきている母子・父子へのケアの変化や家族のあり方を模索し、今、考える家族形成の鍵となる家族の絆形成について 共に考えて行きたい。

## 外国語学習法の「常識」を考える 荻原 洋先生 (専攻:応用言語学、英語教育)

インターネット上のある事典によれば、常識とは「ある社会のある時期において、一般の人々がとくに反省することなく当然のこととして共通に認めている意見や判断のことであり、その社会の歴史のなかから自然に形成される」とあります。外国語の学習に関してもこのような意味での常識はたくさんあります。つまり日本という社会だからこそ生まれた外国語学習の常識があるわけです。それらのいくつかについて、最近の研究動向を踏まえながら考えてみたいと思います。

## 「感情の言語」としての音楽 海老原 直邦先生 (専攻:認知心理学、音楽療法)

音楽はこころを癒す、音楽はからだの免疫力を高める、音楽はワインを美味しくする、などなど、音楽の効能があれこれと話題になっています。一体、音楽は世に言われるような力をもっているのでしょうか。それとも、その効果は音楽の力を信じた人の自己暗示や錯覚に過ぎないものなのでしょうか。音楽を計画的に利用して、心身の障害を改善したり、病気の治癒を促進しようという音楽療法の実践が盛んになり、関連の科学的な研究も活発に行われています。また、音楽は通常のコトバとは異なり、感情や情動を表現し、伝達し、さらには創造する、感情の言語だとも言われます。そのような音楽の作用やメカニズムについて、心理学の理論なども参考にしながら、多角的に考えてみたいと思います。

## 生活習慣病は養生、そして漢方 渡邊 裕司先生 (専攻:薬物学)

食べ過ぎや運動不足が続くと、内臓脂肪が蓄積し、高トリグリセライド血症、糖尿病、高血圧症や低 HDL コレステロール血症など(生活習慣病と呼ばれています)が現れ、徐々に動脈硬化がおこります。それらを予防するためには、先ず、食事やその他の生活習慣を正すことが大切です(大食、夜更かし、朝寝坊などはもってのほかです)。そのうえで、必要ならば漢方薬を使って生活習慣病の進展を抑えるようにします。

いま、皆さんの生活習慣はどうなっていますか？

放送大大学富山学習センター オープンキャンパス 開催日時 平成21年12月20日(日) 10:00~12:00  
参加無料! 入学をお考えの方、興味のある方、お気軽に参加願います。 平成22年 1月 9日(土) 10:00~12:00

富山学習センターでは、毎週水曜日・日曜日に個別相談会を実施しています。(要事前予約)  
履修科目選択、編入学(短大卒、(一部)専門学校修了)、資格関係などの相談に応じます。  
また、随時体験入学もできます。実際の放送授業を体験し、確認してください。  
放送大学を知っていただくために、ご家族・友人・知人にぜひご紹介下さい。